

市会議案第 23 号

少人数学級の実現を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和 2 年 12 月 18 日提出

吹田市議会議員	川本 均
---------	------

同	石川 勝
---	------

同	五十川有香
---	-------

同	山根 建人
---	-------

同	玉井美樹子
---	-------

少人数学級の実現を求める意見書（案）

昨今、子供たちを取り巻く環境が大きく変化している中で、全ての子供たちの可能性を引き出す学びを実現し、教育の質の向上を図る必要性が高まっている。また、さらに今般の新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえると、新たな感染症や災害の発生等の緊急時においても、全ての子供たちの学びを保障することは喫緊の課題であり、その解決のためには、学校教育について、新しい時代の学びを支えるための環境整備を図る必要がある。

このような状況の中、文部科学省は、本年9月、令和3年度の概算要求において、少人数学級に向けたきめ細かな指導体制の計画的な整備の経費を計上しており、同年10月、中央教育審議会の初等中等教育分科会で、「令和の日本型学校教育の構築を目指して（中間まとめ）」を取りまとめている。その中間まとめの中では、新しい生活様式を踏まえた身体的距離の確保に向け、教室等の実態に合った少人数学級の編制を可能とするなど、教師の人材確保を含め、新時代の学びを支えるきめ細かな指導体制や必要な施設、設備について、検討を進め、計画的に整備を図るべきとされている。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、柔軟な学級編成や教職員配置による少人数学級の実現とともに、きめ細かな指導体制や施設等の環境整備に必要な予算措置を講じるよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月 日

吹 田 市 議 会